2014 年度　行事報告

【総　会】――――――――――――――――

日　　時 : 2014 年 6 月 28 日（土）
場　　所 : 佐倉城址公園
参加者数 : 62 名＋子供 2 名

総会が佐倉城址公園で行われました。事務局より 25 年度会計報告と 26 年度世話人と行事予定の提案があり、承認されました。

【第 70 回観察会】――――――――――――

日　　時 : 2014 年 6 月 28 日（土）
場　　所 : 佐倉城址公園
講　　師 : 吹春 俊光
参加者数 : 63 名＋子供 3 名
採 取 数 : 同定 : 40 種、未同定 : 8 種

小雨の中、自宅を出発。途中、雨が激しくなり、心配しましたが、佐倉に着くと雨は降っていませんでした。きのこはあまり多くはなかったのですが、クモタケは大量に見つかりました。クモタケを始めて見る参加者が今回は多かったので、良かったと思いました。

観察記録（50 音順）

アオキオチバタケ（39881）、アカダマキヌガサタケ（39883）、アミスギタケ、アラゲキクラゲ、オオツルタケ、オキナクサハツ（39871）、オリーブサカズキタケ、ガンタケ、キチャハツ、キヒダタケ、クモタケ（39886）、クロタマゴテングタケ（39880）、クロハツ、クロラッパタケ（39873）、ケショウハツ（39870）、コウジタケ、コキララタケ（39869）、サクラタケ、シロハツ、スジウチワタケモドキ、ダイダイガサ（39894）、タマゴテングタケモドキ、チチタケ（39878）、ツチグリ、ツチナメコ、ツルタケ、テングタケ、テングツルタケ、トキイロヒラタケ（39875）、ニオイワチチタケ（39877）、ヌメリツバタケ（39876）、ハイイロイタチタケ（39887）、ハナオチバタケ、ヒメヒガサヒトヨタケ？（39890）、ビロードチチタケ（39879）、フクロツルタケ、ヘビキノコモドキ（39874）、マツオウジ（39885）、ミドリニガイグチ、ヤグラタケ、他に未同定のもの８種。（番号は博物館の標本番号）

手前にあるのがクモタケ。佐倉城址公園では、キシノウエトタテグモが宿主となっている

【第 71 回観察会】

日　　時 : 2014 年 9 月 27 日（土）
場　　所 : 泉自然公園
講　　師 : 吹春 俊光
参加者数 : 58 名＋子供 8 名
採 取 数 : 同定 : 67 種、未同定 : 15 種

朝から産経新聞と日本テレビの取材が入りました。夏場は高温と乾燥で林床はカラカラでしたが、９月に入ってからだいぶ涼しくなり、当日は台風の接近もあって曇り。１週間ほど前に降った雨で多量にきのこが発生した終盤といった感じでしたが、そこそこきのこは採れ、ほっとして同定会が始まったところへ、御嶽山が噴火！のニュースが飛び込んできました。即座にテレビの取材は打ち切りとなり、放映もそのままとんでしまいましたが、産経新聞の記事は、１０月３日の首都圏・静岡版に掲載され、観察会の様子や、各地で相次ぐきのこ中毒をうけて、毒きのこの見分け方などが紹介されておりました。

同定会では、いつもはわりとみられる冬虫夏草のツクツクボウシタケが今年はあまりみられませんでした。そういえば、今年はセミそのものも少なかったような気がします。

観察記録（50 音順）

アオゾメタケ、アラゲキクラゲ、イタチナミハタケ？（39988）、イロガワリ、ウスヒラタケ、ウチワタケ、エゴノキタケ、エノキタケ、オオチリメンタケ＊（39976）、オオツルタケ、オキナクサハツ、オニタケ、カレバキツネタケ（39990）、カワラタケ、カワリハツ、キアシグロタケ、キショウゲンジ、クサウラベニタケ、クサハツ、クサハツモドキ、クジラタケ＊（39997）、クロコブタケ、クロサルノコシカケ？＊、クロハツ、クロハツモドキ、クロヒメオニタケ（39991）、ケショウハツ、コテングタケモドキ、コフキサルノコシカケ、サンコタケ、シロゲカヤタケ（シロケシメジ）、シロタマゴテングタケ、シロヌメリイグチ（39975）、シロハツ、スギエダタケ、スッポンタケ、スミゾメヤマイグチ、スルメタケ＊（39978）、センボンイチメガサ（39989）、タマゴタケ、チシオタケ（39994）、チャヌメリカラカサタケ？（39992）、ツチグリ、ツチナメコ、ツブエノウラベニイグチ？（39984）、ツヤウチワタケ、ツルタケ、テングタケ、テングタケダマシ、テングツルタケ（39985）、ドクツルタケ、ナナフシテングノメシガイ（39995）、ナラタケ、ナラタケモドキ、ニオ

第 71 回観察会　集合写真　2014 年 9 月 27 日　　於 : 泉自然公園

イキシメジ、ニガクリタケ、ネンドタケ＊（39980）、ノウタケ、ハタケシメジ、ハナオチバタケ、ハナサナギタケ、ヒイロタケ、フサヒメホウキタケ（39972）、ミカドアンズタケ（39973）、ミヤマタマゴタケ、ヤグラタケ（39977）、ヤケイロタケ＊（39981）、他に未同定のもの 15 種。＊印は平野達也同定

テングタケの仲間は、いつもより少なかった

【第 72 回観察会】── 中止 ──────

日　　時：2014 年 10 月 13 日（月・祝日）
場　　所：市原市民の森

72 回観察会は「非常に強い」台風 19 号が観察会当日、東日本に接近するとの予報のため、参加者の安全と交通機関の混乱等を考慮して、急きょ中止することに決まりました。全会員に通知することが困難なため、千葉菌 HP に掲示するとともに観察会担当幹事は市原市民の森駐車場付近で待機しました。因みに観察会が中止になったのは会始まって以来のことでした。

当日は台風も弱まり、観察会に何の影響もなかったのですが、肝心のきのこはがっかりする程、ありませんでした。結果としては中止して良かったと幹事一同思ったのでした。

参考までにこの日、見られたきのこの記録を以下に載せておきます。

観察記録（50 音順）

同定：9 種、未同定：10 種

ウチワタケ、コタマゴテングタケ（40038）、ショウロ（40039）、スギエダタケ、スギタケ（40040）、ツチグリ、ハタケシメジ、ハナビラニカワタケ、ムラサキシメジ、他に未同定のもの 10 種。

【第 58 回日本菌学会参加】──────

日　　時：2014 年 6 月 14 日（土）～15 日（日）
場　　所：サイエンスヒルズこまつ
　　（石川県小松市）

日本菌学会第 58 回石川大会のアマチュアの会有志によるコーナー「アマチュア研究者の取り組み（2014 年）」へ参加し、本会のポスター紹介と会報の展示、会報最新号（30 号）の販売を行いました。

【第 23 回スライド会】──────

日　　時：2015 年 1 月 10 日（土）
場　　所：千葉県立中央博物館講堂
参加者数：68 名＋子供 7 名

今年も多くの方に参加いただき、演者は約 15 分刻みでみっちりのスケジュール。なかには、ミニ講演会となっているものも多数あり、興味深く拝聴させていただきました。

スライド会は、きのこ写真や研究報告などを楽しむ交流の場です。会員でまだ発表していない方、映写がなくとも紙焼きでの参加も大歓迎です。参加の際には、指定期日までに事務局へご連絡をお願いいたします。次世代へ残したい、きのこ談話も歓迎です。もし話したりなかったら、会報にご投稿ください。

発表風景　なかなか見られない貴重な映像もある

スライド発表（発表順）

須賀良行：2014 年のきのこ
井上佳男：地球をきれいにする微生物（汚染物質分解菌）
萩本　宏：森本彦三郎氏が菌床栽培法と原木栽培用種菌の発明に至った発想の経緯について
根田　仁：「きのこミュージアム」から「きのこの学名について」
天野典英：米国ハーバード大学ファーロー標本庫見学記
浅井淑子：2014 年の印象に残ったきのこいろいろ
前川啓二：葛西臨海公園のキノコ
大作晃一：図鑑 NEO 花はこうしてできた！
山本充弘：南房総のきのこから
浅井郁夫：2014 年 印象に残ったきのこ
小倉豊史：野生のきのこの採集と食
三休さん：多々狩れ！超きのこ生命体マッシュルーマー2014

小物展示コーナー

＜写真・書籍・資料等＞　ヤマドリタケモドキの発生、気温と雨量の関係について 2007 年～2014 年、きのこの内外古書、佐野書店
＜小物展示品＞　布製オーナメント（ムラサキヤマドリタケ・ベニテングタケ・アカダマキヌガサタケ）、秘蔵きのこ小物、自作カレンダー、アセタケ風キャンドル、彫金アクセサリー、カードスタンド、マトリョーシカ、きのこプリント布で作った洋服・バッグ、手書きのきのこトートバッグ、ビーズストラップ、靴下修繕道具、2014 年きのこ展マッシュルーマースタンプ、自作ミクロトーム、ユニット式きのこ採集鎌、竹べら、どんぐり独楽、四葉の栞、手作りキャラメル、きのこクッキー、採集生菌（ヒラタケ、ショウロほか）
※一部は参加者へのプレゼントとしてご提供いただきました。ありがとうございます。なお、出品者名は割愛させていただきました。このコーナーの担当は大蔦和子・菊池栄子が行いました。

プレゼント当選はジャンケンで勝負！

「すずらん」によるハンドベル演奏

今年も元気にすてきな演奏を披露してくれました。

曲目：「ライジングサン」
「小さい秋みつけた」
「花は咲く」

「すずらん」による演奏風景